

第12回一関市乾しいたけ品評会及び展示・販売会の開催について

1 審査会

令和8年6月3日に一関地方森林組合東磐木材流通センターで「第12回一関市乾しいたけ品評会」の審査会が行われました。出品物は5銘柄計30点(天白どんこ1点、茶花どんこ7点、どんこ9点、こうこ6点、こうしん7点)です。

一関農林振興センター所長が審査員長を務め、関係機関の職員5名と形や色、仕上がりなどを基準に審査を行いました。

今年は厳しい気象条件でしたが、全体的に品質が高く、肉厚で見た目の良い乾しいたけが多く見られました。

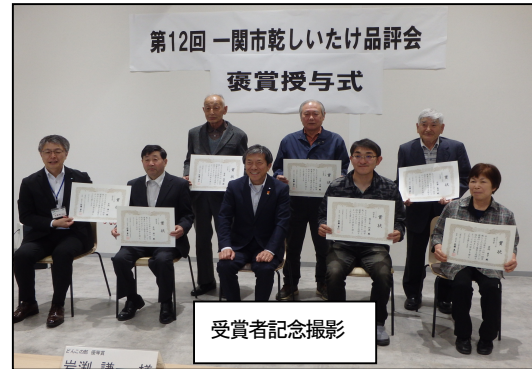


2 褒賞授与式、展示販売会

6月6日には、「道の駅だいとう」において、審査結果に基づく褒賞授与式と出品作品の展示・販売会を開催しました。

褒賞授与式では入賞者に賞状と副賞が贈られ、会場からは大きな拍手が送られました。

一人で複数受賞された方もおり、記念撮影の際には隣の方に手伝ってもらったり、重ねたりと工夫していました。



入賞作品である乾しいたけが展示されている横では試食販売が行われ、多くの来場者でにぎわいました。

試食では乾しいたけの美味しさを改めて認識し、販売会でしか購入できない、品質の高さに関心が集まり、販売も好評でした。

また、写真のようにきのこの帽子をかぶってホダ木の前で写真撮影する家族の様子も見られ、写真スポットとしても好評でした。



3 まとめ

今回の品評会を通じて、生産者の技術向上と意欲の向上につながるとともに、一関市の乾しいたけの魅力を広くPRすることができました。一関農林Cでは、今後も引き続き、品質の向上と消費拡大に取り組んでいきます。